

2級建築士

1. 講座の概要

2級建築士は、大きく「学科」と「製図」があり、それぞれ「無料講座」と「会員講座」がある。

過去問は、建築技術教育普及センターとの使用許諾条件から会員講座のみでの公開としている。毎年(年末)、その年の最新問題の使用許諾を頂き、解答例を追加する。

2級建築士の講座は、2007年から最新年度の過去問を解説している(下表参照)。2級建築士の合格率は、1級建築士と比較する場合、約3倍と高い合格率となっているので、比較的合格しやすい。ただし、近年の問題は、かなり1級建築士の問題に近づいており、難しい問題が多々見受けれる。

以下に、1級建築士と2級建築士の学科及び製図試験の合格率を示す。過去数年の2級建築士の合格率は、学科30～40%、製図50～55%、最終20～25%である。

- ・1級建築士(2016年の合格率):学科=16.1%、製図=42.4%・・・ストレート合格なら **6.8%** と弁護士並みの難易度
- ・2級建築士(2016年の合格率):学科=42.3%、製図=53.1%・・・ストレート合格でも **22.5%** と通過しやすい難易度

製図試験の予測課題については、1級建築士の製図解説と同じように、「80%以上ズバリの中する項目別の予測課題の解説」をする。ただし、その予測課題は、現段階では、1点予測課題の取りまとめとなっている。

2級建築士は、大学、短大、高等専門学校で指定科目を修めた方は、実務経験0年で受験できる。高等学校で指定科目を修めた方は、実務経験3年で受験でき、学歴がない方でも実務経験7年で受験できる。

つまり、全く建築に関係のない方でも、実務経験により「2級⇒1級⇒設備・構造1級」の全ての資格を取ることができる。

- ・7年経歴⇒2級建築士
- ・4年経歴⇒1級建築士
- ・5年経歴⇒設備・構造設計1級建築士

建築業界で生きていくと**志**を持たれた方は、当HPを活用して、2級建築士取得後に1級建築士の取得を目指しませんか。

建築系資格では、最難関と言われている1級建築士について、当HPの講座は効率よく学習できる内容となっている。また、2級建築士や設備設計1級建築士の講座もあり、それらの資料を年会費2万円(延長時は1万円/年)で全て閲覧できる。2級建築士取得後から1級建築士の受験までは4年間であるが、その間、当HPを活用して1級建築士の1発合格を目指しませんか(その間の費用は、4年間延長費×1万円/年=4万円とリーズナブルである、資格学校へ通学すると単年度で短期30万円～長期100万円)。

2級建築士(学科無料講座)

- 1章 学科試験の現状把握
- 2章 4科目の項目別問題別一覧表(2007年～最新年度)
- 3章 過去問の出題法文一覧表(2007年～最新年度)

2級建築士(学科会員講座)

- 1章 4科目の項目別問題別一覧表(2007年～最新年度)
- 2章 過去問10年の出題法文一覧表(2007年～最新年度)
- 3章 4科目全問題のポイント一覧表(2007年～最新年度)
- 4章 4科目の過去問10年の出題問題一覧表(2007年～最新年度)
- 5章 年度別の問題と解説(2012年～最新年度)

2級建築士(製図無料講座)

- 1章 製図試験の現状把握

2級建築士(製図会員講座)

- 1章 センター出題課題(2012年～最新年度)
- 2章 センター標準解答図(2012年～最新年度)
- 3章 センター出題課題の項目別分析(2012年～最新年度)
- 4章 予測課題の解説(2017年～最新年度)

2. 講座の一部紹介

2級建築士の学科および製図の講座から、一部を紹介する。

学科:4科目における過去問(11年)の項目別一覧表

⇒H19から最新年の過去問を項目別に分析し、問題番号を振分けた。どの項目がどの程度出題するか一目瞭然である。

製図:過去問分析の「1. 設計条件」の過去問一覧表

⇒H24から最新年の過去問を課題項目ごとに分析し、出題傾向等を解説している(製図試験も過去問分析が重要)。

2級建築士 4科目における過去問10年の項目別一覧表

表1 I計画の項目別一覧表(平成19年～平成29年)

| NO | 項目分類 | 年度 | | | | | | | | | | 出題数 (個) | 出題率 (%) | |
|----|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| | | H19 (問目) | H20 (問目) | H21 (問目) | H22 (問目) | H23 (問目) | H24 (問目) | H25 (問目) | H26 (問目) | H27 (問目) | H28 (問目) | | | H29 (問目) |
| 1 | 日本建築作品 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1,2 | 1 | 2 | 1 | 11 | 4.0 |
| 2 | 西洋建築作品 | | | | | 1 | 2 | 2 | | 2 | 1 | 2 | 6 | 2.2 |
| 3 | 用語・環境総合 | 2,9 | 2 | 2,9 | 2 | 2,9 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 14 | 5.1 |
| 4 | 伝熱 | 5,6 | 5,6 | 5,6 | 5,6 | 5,7 | 5,6 | 5,6 | 5,6 | 5 | 4,5 | 5 | 20 | 7.3 |
| 5 | 空気・換気 | 3,4 | 3,4 | 3,4 | 3,4 | 3,4 | 4 | 4,8 | 4 | 4,6 | 6 | 4,6 | 19 | 6.9 |
| 6 | 日照・日射 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 11 | 4.0 |
| 7 | 色彩・照明 | | 9 | | 9 | | 8 | | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 2.5 |
| 8 | 音響 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 11 | 4.0 |
| 9 | 屋外気候 | | | | | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 6 | 2.2 |
| 10 | 住宅計画 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 4.0 |
| 11 | 集合住宅計画 | 11 | 11 | 11 | 12 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 | 4.0 |
| 12 | 事務所・商業施設 | 13,14 | 12,13 | 12,13 | 11,13 | 12,13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 16 | 5.8 |
| 13 | 公共施設 | 12,15 | 14,15 | 14,15 | 14 | 14,15 | 14,15 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14,15 | 17 | 6.2 |
| 14 | その他施設 | | | 17 | | | | 15 | 15 | 15 | 15 | | 5 | 1.8 |
| 15 | 寸法・平面計画 | | 16 | 16 | 16 | 16 | | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 8 | 2.9 |
| 16 | 高齢者対応 | 16 | 17,18 | | 15 | 16 | 16 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 11 | 4.0 |
| 17 | その他計画 | 17,18 | | 18 | 17,18 | 17,18 | 17,18 | 17 | 18 | 18 | 18 | 18 | 14 | 5.1 |
| 18 | 設備用語 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 11 | 4.0 |
| 19 | 空調設備 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20,21 | 20,21 | 20 | 20,21 | 20,21 | 20,21 | 20,21 | 17 | 6.2 |
| 20 | 給排水設備 | 21,22 | 21,22 | 21,22 | 21,22 | 22 | 22 | 21,22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 16 | 5.8 |
| 21 | 電気設備 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23,24 | 12 | 4.4 |
| 22 | 防災設備 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | | 10 | 3.6 |
| 23 | 環境配慮・省エネ | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 11 | 4.0 |
| | 合計 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 275 | 100 |

注1)項目分類は同類問題の名称を示す。H(平成)は出題年度を示す。表内数値(1~25)は問題番号を示す。

2級建築士 製図試験【過去問分析(1)】「1. 設計条件」の過去問一覧表

過去問分析について

製図試験で重要なことは、**問題文をしっかりと読み解く**ということである。
 問題文をしっかりと読み解くための最も効果的な方法は、過去問の分析である。学科試験も過去問分析が王道といえるように、製図試験も過去問分析は必須事項である。逆の言い方をすると、製図試験を受けるに当たり、過去問分析をしないで行くことは非常に危険であると言える。

過去問は、試験年度の見直しとなった10の年から現在までの全てを分析する。この見直しには、1~2週間程度の時間を要するが、研究の集約は、その時間をばらばらと取って頂くことが可能。例えば1日を割ってこの資料を勉強する。2日~現在の過去問が掲載できるようにまとめている。事前に過去問の題名を確認し、読んでおくだけでいい。研究の資料は、問題文を下部の2項目に分けて、その項目ごとに全ての過去問を一覧表にまとめて、詳細な分析を行い、**共通事項**をまとめているので、読むだけでその項目の全体像が見えてくる。

- 過去問分析(1) 1. 設計条件
- 過去問分析(2) (1) 敷地
- 過去問分析(3) (2) 用途、用途及び建築物の用途
- 過去問分析(4) (3) 延べ面積
- 過去問分析(5) (4) 人員構成等
- 過去問分析(6) (5) 要求数
- 過去問分析(7) (6) 階段、エレベーター及びスロープ
- 過去問分析(8) (7) 屋外気候等
- 過去問分析(9) 2. 要求図書

「詳しく読む」は、要求書の条件を間違えないことだけでなく、**出題者の意図**を知ることにも含まれる。1項目だけの過去問を全てを調べると、その出題パターンが見えてきて出題者の意図が分かるようになる。この項目の定題文は例で、毎年2~3を交えて出題されているものがある。

「読み解く」は、その項目での**定題文**をしっかりと読むことで、定題文以外をチェックするという読み方ができる。この読み方ができる。通常は読む時間の半分以上の時間で問題文が読めるようになる。製図は、**時間勝負の試験**であるので、「読み解く」能力は試験前に訓練する事項であり、定題文読解が一番効果のある学習法である(問題文の多くの部分は定題文である)。

問題文

問題文からは、大きく敷地コンクリート造か、木造かが、建築士に分かる。これは、建築発表時に有利なので、該当する過去問を学習して、敷地コンクリートの建築または木造の図面を書くようにする。
 過去問の出題は下記の通りである。

- H24:敷地コンクリート造 2階建
- H25:木造 2階建
- H26:木造 2階建
- H27:敷地コンクリート造 3階建
- H28:木造 2階建
- H29:木造 2階建

1. 設計条件

「1. 設計条件」は、この製図試験の計画地の建築条件や設計目的などが書かれている。
 大きくは、**概況**と**留意**(備考書き)の2つの構成となっている。
 この概況は、毎段の条件がないことから、何気なく読み終える方も多いが、実は設計上かなり**重要な方針**などが書かれているので、留意して読む必要がある。
 概況は、「この地方...計画する。」と始まっている(各年度の内容は下記の通りである)。その後、強調したい内容がある場合(H24、H28、H27)は、**補文**が追加されている。この補文は、全文で約60~120文字の内容となっている。その後、「計画に当たっては、次の①~③に特に留意する。」が書かれている。

- H24:ある地方都市において、...を計画する。
- H25:ある地方都市の住宅地において、...を計画する。
- H26:ある地方都市の住宅地において、...を計画する。
- H27:ある地方都市の集会所において、...を計画する。
- H28:ある地方都市の住宅地において、...を計画する。
- H29:ある地方都市の住宅地において、...を計画する。

計画の留意事項は、下記のような**共通事項**が見えてくる。

【共通事項①:耐震性】

H26以前は、毎年、最後の備考書きで「耐震性」が書かれていた。
 H26も当然「耐震性」に考慮した設計をする必要があり、当然の内容として耐震された可能性もある。H29は、削除されているので、今後も書かれない可能性がある。

- H24:①建築物の耐震性を確保する。
- H25:①建築物の耐震性を確保する。
- H26:①建築物の耐震性を確保する。
- H27:①建築物の耐震性を確保する。
- H28:—
- H29:—

【共通事項②:アプローチ】

「アプローチ」は、外部動線を示すものである。

- H24:②公算から、施設を直接利用...
- H25:②ビルストラック部分の専用出入口へのアプローチ...
- H26:②道路から玄関へのアプローチ...
- H27:②店舗部分の専用出入口への主たるアプローチ...
- H28:—
- H29:②駐車スペースから玄関アプローチへのアプローチには屋外スロープを計画し...

【共通事項③:主な要求数】

「主な要求数」の条件は、この留意に書かれている。
 ここに書かれている要求数は、この建築物で要求数であるとは出題者が言っていることなので、試験では、この要求数に乗マークなどをし、「要求数等」にも同じ乗マークなどをして重要であることを明示的に記載した方がいい。

- H24:③駐車スペース、屋外フェデラス、④多目的スペース(災害時も利用)
- H25:③ビルストラック部分、住宅部分、④客室、屋外デッキ(奥庭側)
- H26:③要求数の配置・配線、廊下の幅、住宅部分(浴室、脱衣室用便所)、④要求数の床高
- H27:③車庫ドア、④駐車スペース、⑤店舗、⑥専用カーポート、⑦室内プレイスペース、屋外プレイスペース
- H28:③店舗(炊飯機)、土間スペース(多目的利用)
- H29:③店舗、支那室、④多目的室(研究、要介護者の個室)